第３回　国立大学法人琉球大学上原地区キャンパス跡地利用
将来ビジョン検討委員会　次第

日　　時：令和３年７月２０日（火）　１０：１５～１１：４５

場　　所：琉球大学　本部管理棟４階　第一会議室

１．開会

２．議事

（１）意見提案（跡地利用に係る具体的な案について）

・西原町のまちづくり方針・計画等について（西原町）　資料１(p2)
・跡地利用についての私案（大城委員長）　資料２(p10)

（２）意見交換　参考資料(p11)

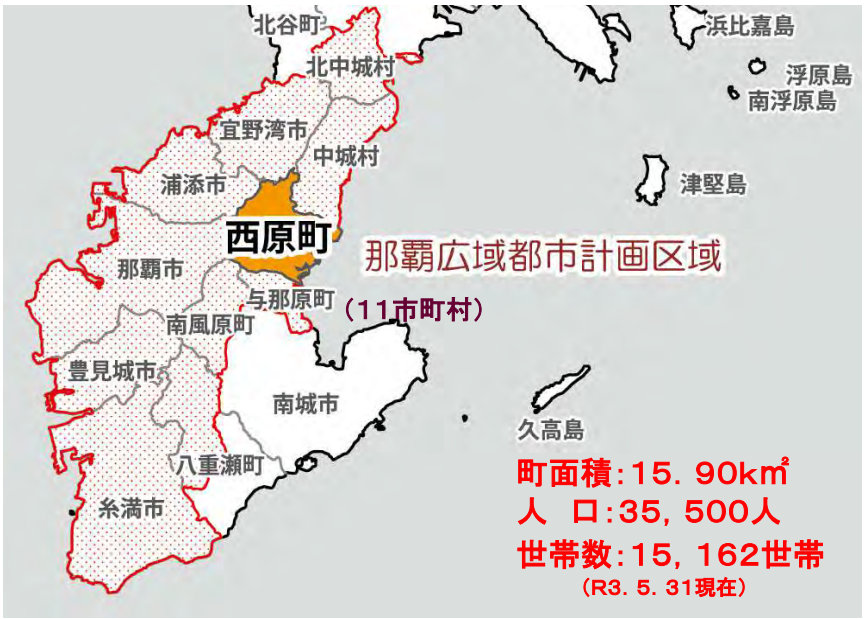
・質疑応答、意見交換

３．閉会

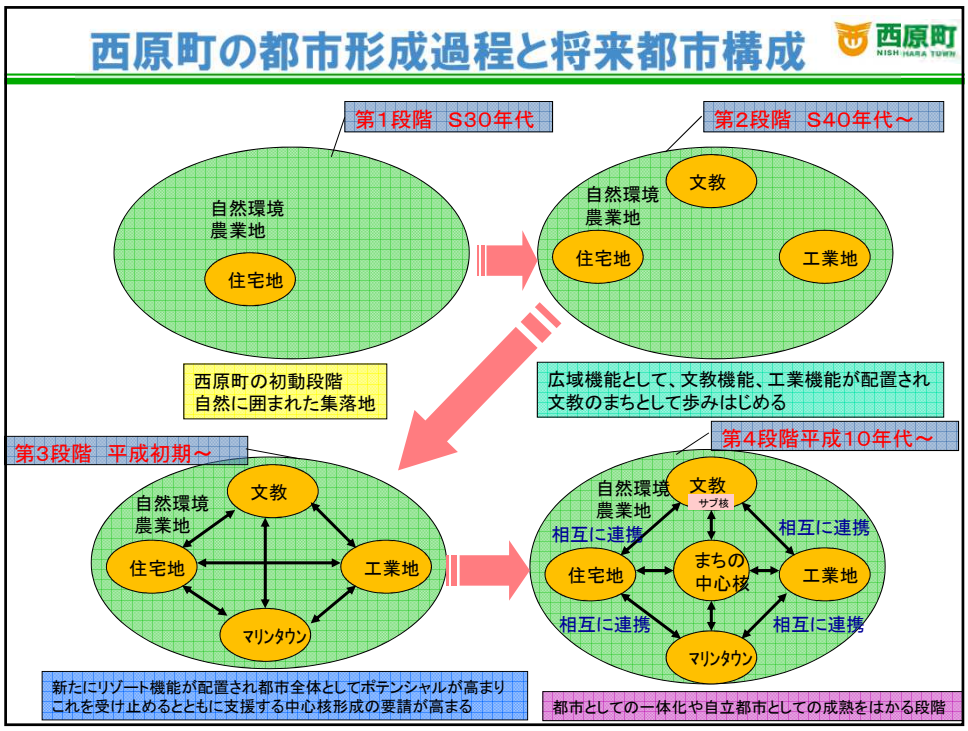
資料１

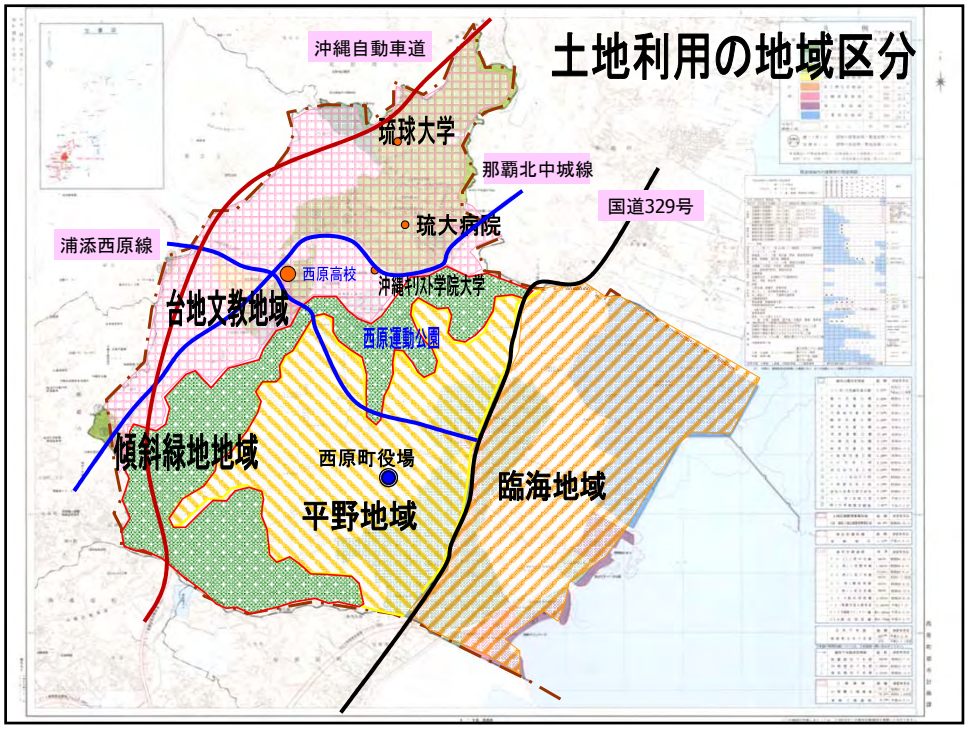
2021/7/13

西原町の地域特性　位置図



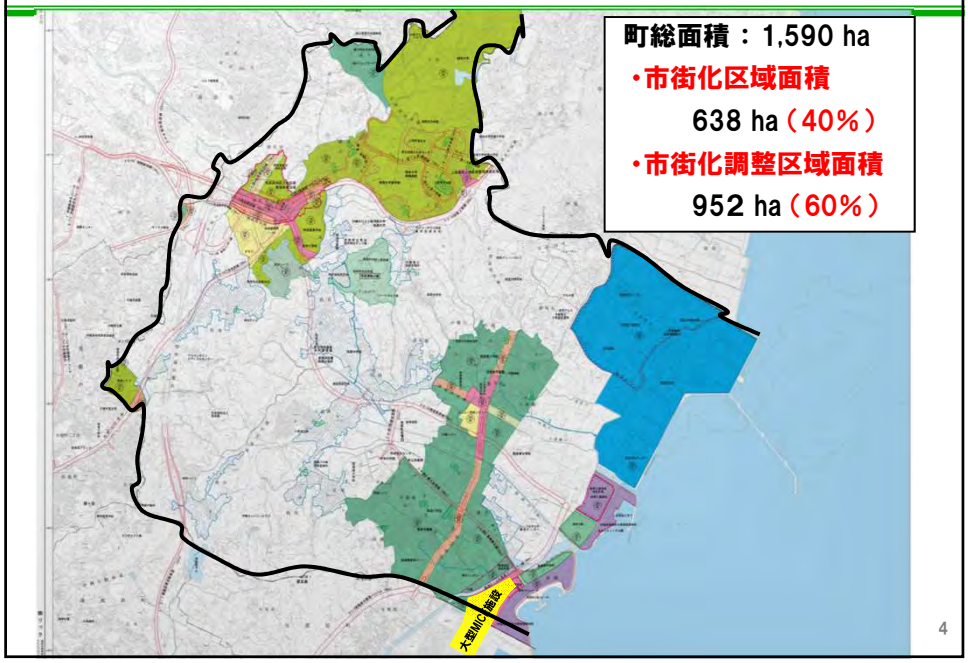
1


西原町の都市形成過程と将来都市構成
西原町
第1段階　S30年代
自然環境
農業地
住宅地
西原町の初動段階
自然に囲まれた集落地
第2段階　S40年代～
文教
自然環境
農業地
住宅地
工業地
広域機能として、文教機能、工業機能が配置され
文教のまちとして歩みはじめる
第3段階　平成初期～
文教
自然環境
農業地
住宅地
工業地
マリンタウン
新たにリゾート機能が配置され都市全体としてポテンシャルが高まり
これを受け止めるとともに支援する中心核形成の要請が高まる
第4段階平成10年代～
文教
サブ核
自然環境
農業地
相互に連携
相互に連携
住宅地
まちの
中心核
工業地
相互に連携
相互に連携
マリンタウン
都市としての一体化や自立都市としての成熟をはかる段階


土地利用の地域区分
沖縄自動車道
琉球大学
那覇北中城線
国道329号
琉大病院
浦添西原線
西原高校
沖縄キリスト学院大学
台地文教地域
西原運動公園
傾斜緑地地域
西原町役場
平野地域
臨海地域

西原町都市計画

西原町
NISHIHARA TOWN



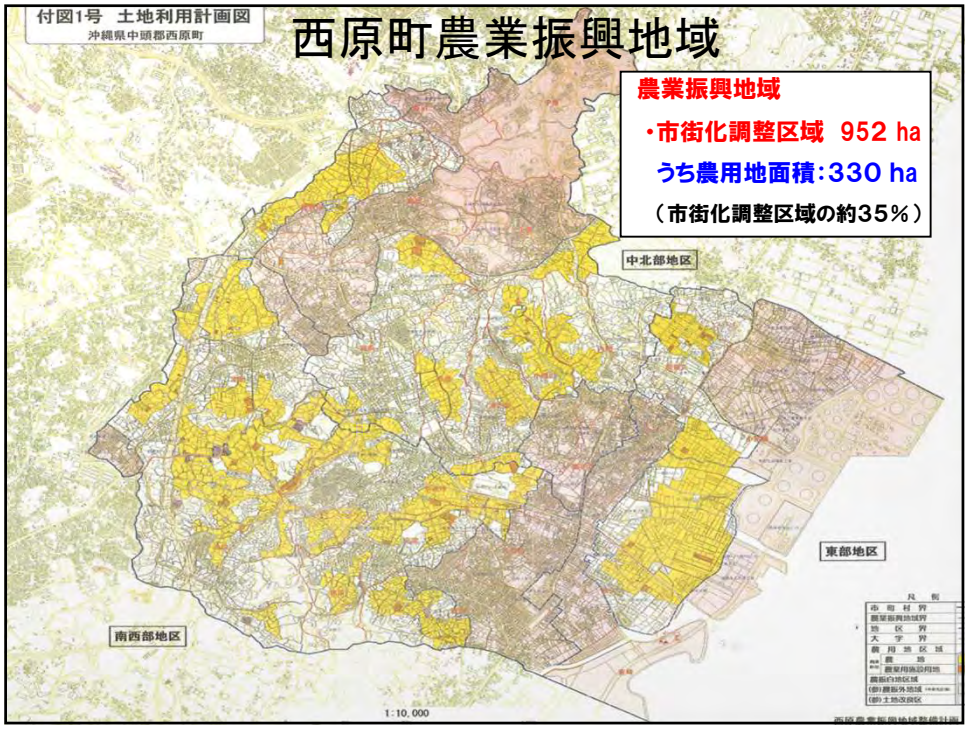
町総面積：1,590 ha

・市街化区域面積
638 ha（40%）

・市街化調整区域面積
952 ha（60%）

4

西原町農業振興地域



農業振興地域

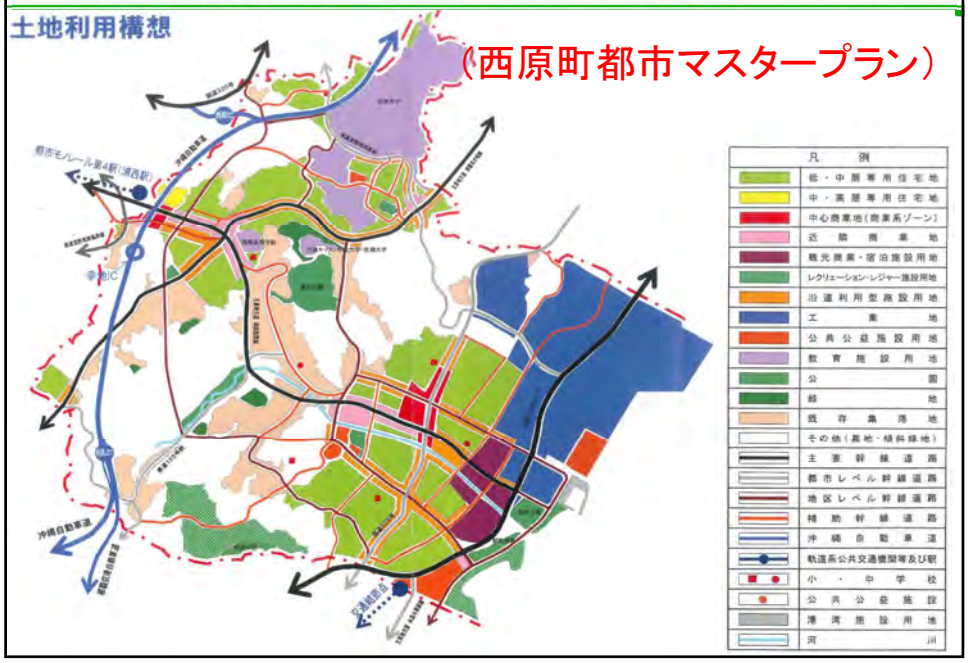
・市街化調整区域　952 ha

うち農用地面積：330 ha

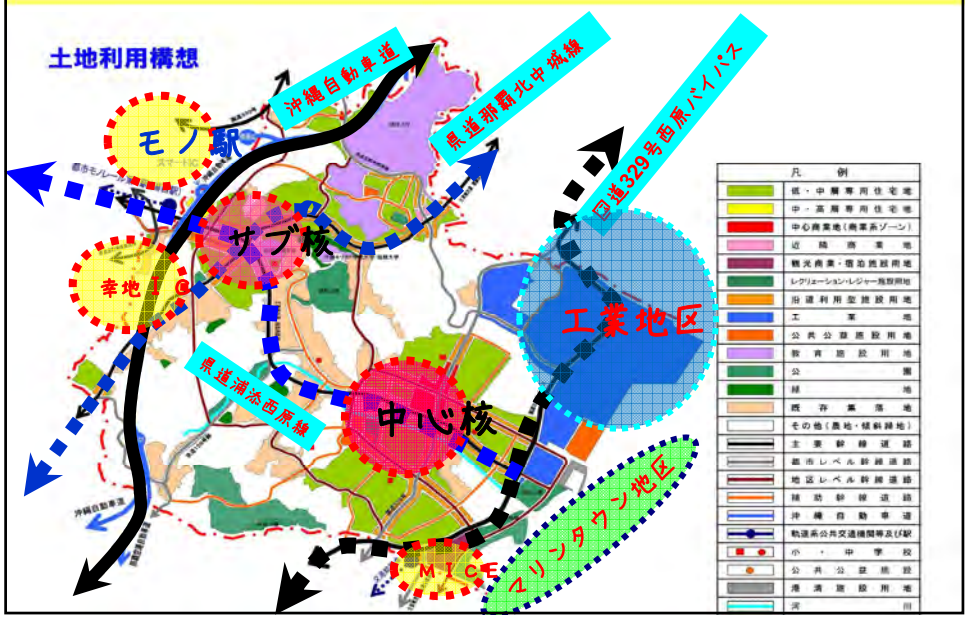
（市街化調整区域の約35%）

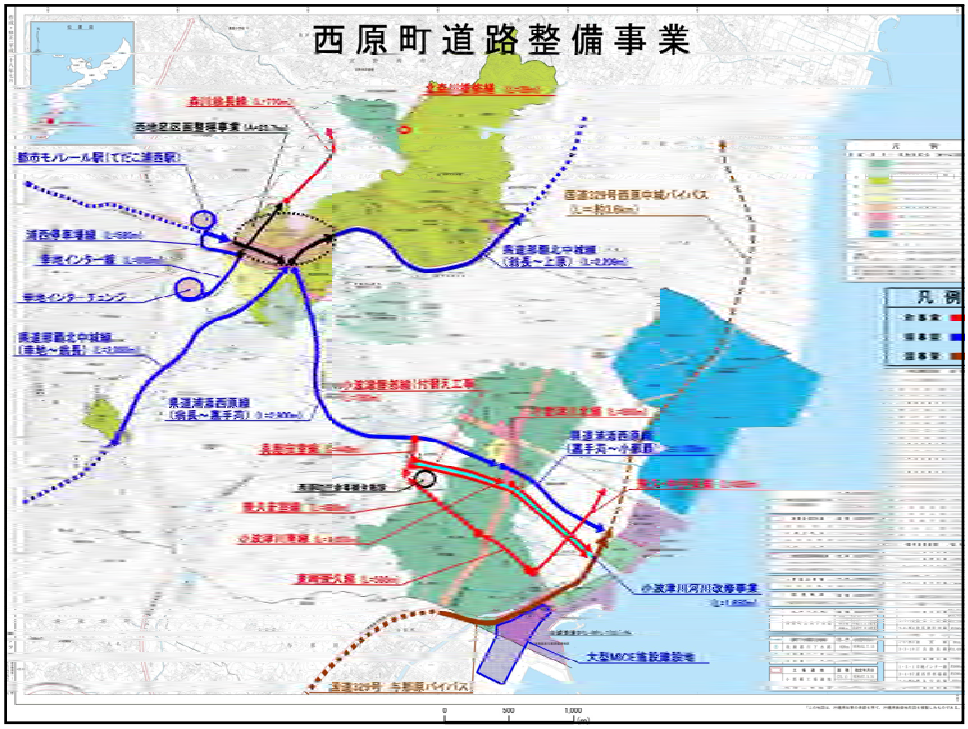
土地利用構想（平成29年12月）

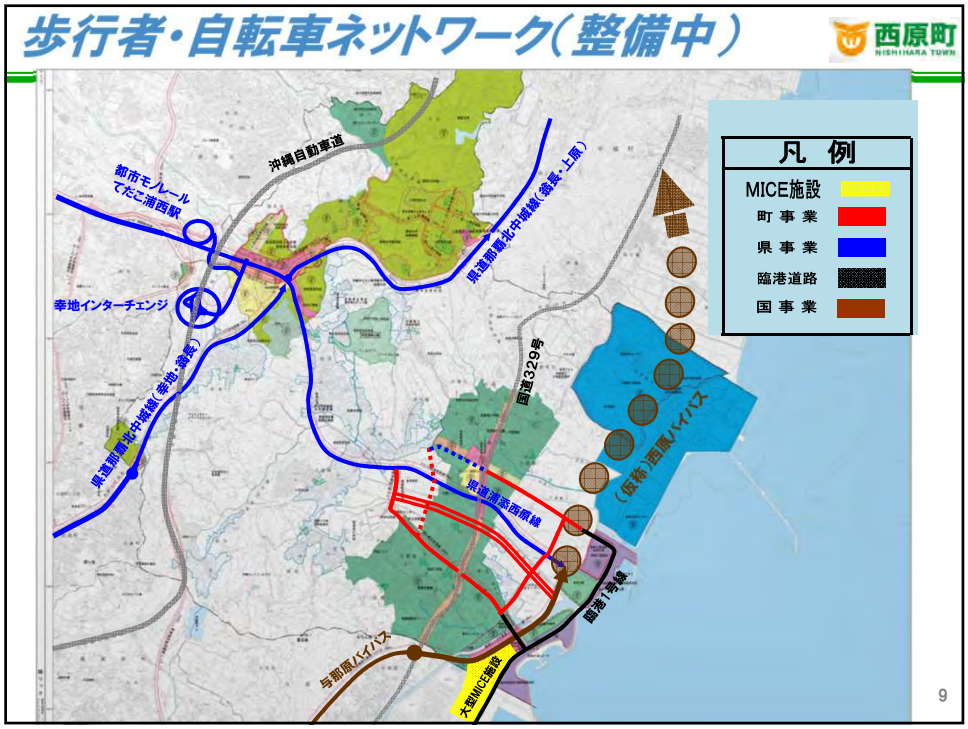
西原町 NISHIHARA TOWN



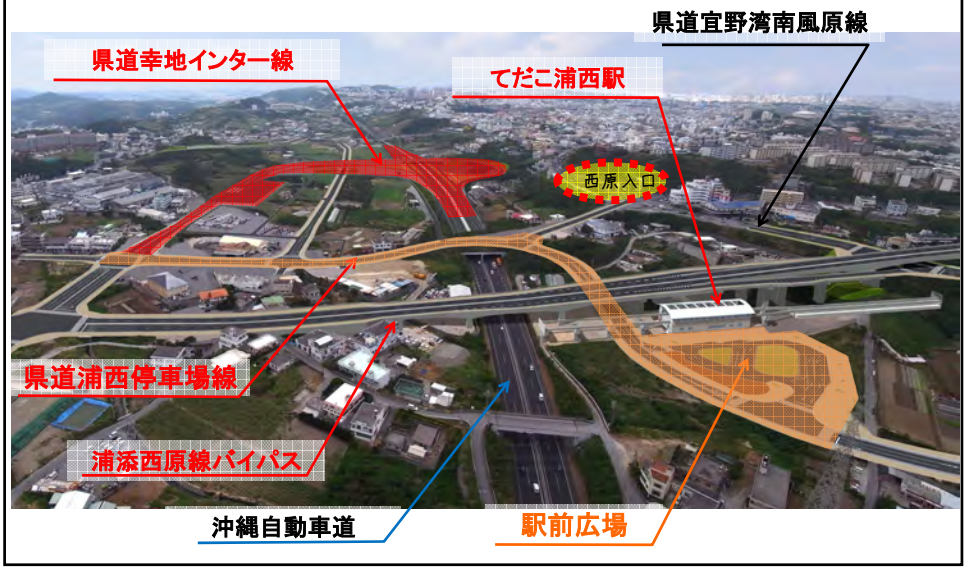
将来土地利用構想（都市マスタープラン）



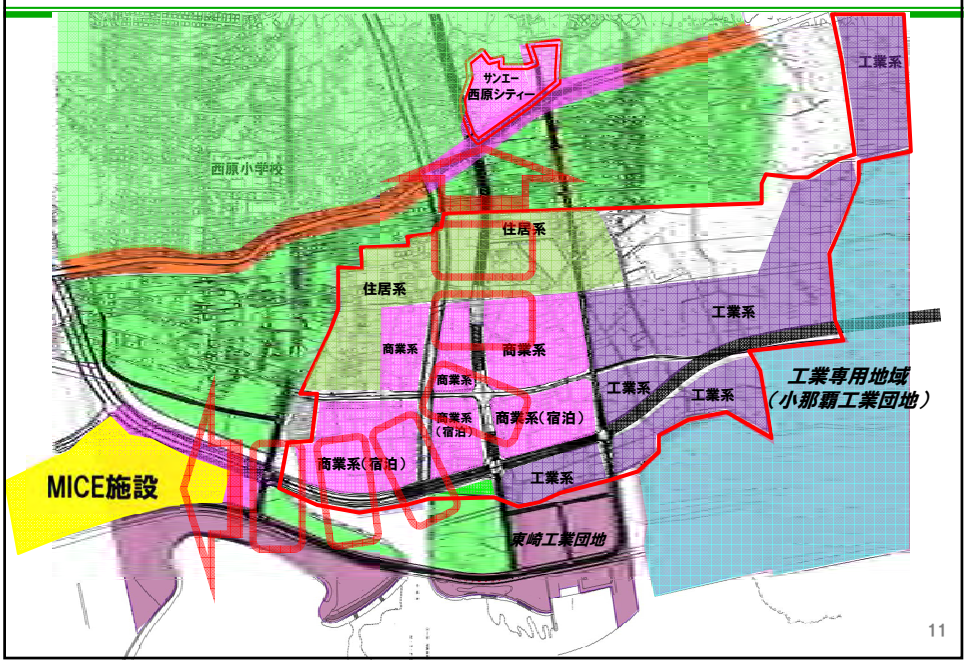

西原町道路整備事業
都市モノレール駅(てだこ浦西駅)
浦西停車場線
幸地インターチェンジ
県道浦添西原線
県道那覇北中城線
(翁長～上原)
国道329号西原中城バイパス
(L=約1.6km)
小波津川河川改修事業
大型MICE施設建設地
国道329号 与那原バイパス
凡 例


歩行者・自転車ネットワーク(整備中)
西原町
NISHIHARA TOWN
凡 例
MICE施設
町 事 業
県 事 業
臨港道路
国 事 業
沖縄自動車道
都市モノレール
てだこ浦西駅
幸地インターチェンジ
県道那覇北中城線(翁長・上原)
県道那覇北中城線(幸地・翁長)
国道329号
(仮称)西原バイパス
県道浦添西原線
臨港1号線
与那原バイパス
大型MICE施設
9

てだこ浦西駅と幸地インターチェンジ連係

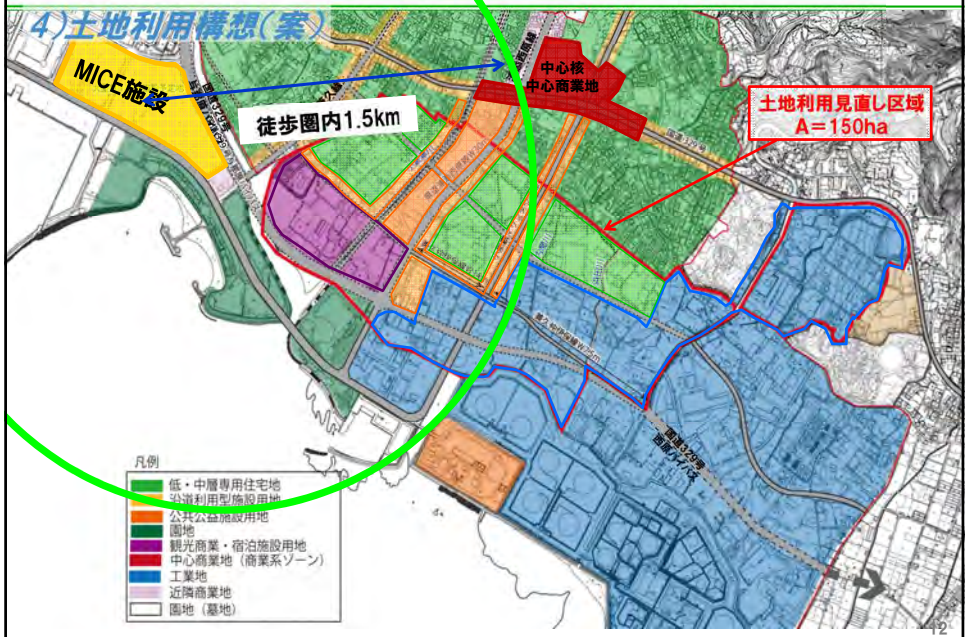


MICE施設と大型商業施設連係



MICE施設から宿泊施設の徒歩範囲

西原町



12

西原町

観光・レクリエーション施設

西原町の地域特性

中心核の形成

大規模商業店舗の立地

西原町立図書館

シンボルロード

2級河川小波津川

.4

西原町の町花・町木・町花木

ご静聴ありがとうございました。

町　花
ブーゲンビリア

町　木
ガジュマル

町花木
サワフジ

資料２

第３回　琉球大学上原キャンパス跡地利用将来ビジョン検討委員会　2021/07/20

跡地利用についての私案（大城　肇）

1. 基本的な認識

①西原町及び沖縄県の医療福祉や地域振興に寄与する跡地利用であること

②新たな地域づくりのモデル拠点となること

③公共施設等に関する LCC（Life Cycle Cost の縮減による長寿命化）を体現する活用法であること

④琉球大学にとって地域貢献の新たな拠点となること

⑤一般に病院跡地は、更地にして売却するにしても、あるいはダウンサイズして利活用する場合でも、それなりの費用が発生すること

2. 跡地利活用方法の例（順不同）

①医療福祉タウンの形成を構想する

☞沖縄県地域医療構想や西原町の健康と福祉のまちづくりの展開の場

②地域包括ケア and/or 慢性期医療の拠点とする

☞少子高齢化社会の進展に伴う医療需要の増大に対する受け皿づくり及び社会的セーフティネット

③質の高いリハビリテーション医療の拠点とする

☞脳血管障害、心疾患への対応

④健康・医療・バイオ関連産業の開発拠点とする

☞地域資源を活用した産業振興、レンタルラボによる新分野の集積、産学官連携によるイノベーションの推進と知的産業クラスターの形成

⑤沖縄県の抱える諸課題の解決に寄与する（付随効果）

☞一人あたり県民所得の低さ、子どもの貧困率の高さ、待機児童数の多さ、介護職の不足、薬剤師不足、健康診断・各種検診率の低さ等への対応・解消

3. 必要な施設等（有効利用をすべき施設等）

〇全ての施設等について建物診断を行い、その結果、修繕・改修費が膨大になり、将来の収支に改善が見込めない施設等以外は可能な限り有効に活用する　☜　LCC

☞病院棟、おきなわクリニカルシミュレーションセンター、再生医療研究センター、機能画像診断センター（PET）、MRI-CT 装置棟ほか

参考資料１
（第２回委員会資料より）

参考資料２
（第２回委員会資料より）

上原地区キャンパス跡地利用の進め方（案）

2021/4/26時点

検討内容／作業内容

R3年度　12月　R4年度以降

【跡地利用将来ビジョン】

※大きな方向性の整理
・コンセプト
・土地利用ゾーニングの方向性

将来ビジョン

【跡地利用推進計画】

・周辺地域等の意向把握
・民間事業者のニーズ等の把握
・都市基盤整備手法等の検討
・課題の整理

跡地利用推進計画

【意思決定】
・上原地区キャンパス跡地利用検討部会、移転推進委員会で審議し、琉球大学役員会にて審議・決定

【土地利用に向けた手続き】
・都市計画等の変更
・事業者との協議
・・・

検討体制

将来ビジョン検討委員会 → R3年度内に設置 跡地利用推進協議会（仮称） → 琉球大学 →

琉球大学上原地区キャンパス移転推進委員会、跡地利用検討部会 →